

自動運転時代のドライブレコーダーとデータ活用 3 ～自動運転の安全性評価へのデータ科学～

Drive Recorder and Data Utilization in the Era of Autonomous Driving III
--- Data Science for Safety Assurance of Autonomous Driving ---

9/28 [木]
15:00-17:30

会場：オンライン開催
参加費：無料

本学スマートモビリティ研究拠点では、安全・快適で持続可能なモビリティ社会の実現に向けて、公的資金の獲得や民間企業との大型共同研究によりスマートモビリティに関する産官学共同プロジェクトを推進してきました。

第3回では自動運転システムの安全性評価手法に焦点をあてて、ドライブレコーダー等によって収集された公道走行データに基づく走行シナリオ抽出手法、日本とドイツとの国際連携の現状について紹介するとともに、自動運転の安全性評価指標の学術研究、ドライブレコーダーの最新映像解析事例について紹介します。

プログラム

司会 ポンサトーン・ラクシンチャランサク(東京農工大学・教授)

15:00 開会挨拶

永井 正夫(東京農工大学・名誉教授)

15:10 【基調講演】
自動運転車の安全性評価

ーシナリオベースの評価手法と国際標準化の動向ー

北島 創(一般財団法人日本自動車研究所・主任研究員)

15:50 Towards Realistic, Safety-Critical and Complete Test Case Catalogs for Safe Automated Driving in Urban Scenarios

Silvia Thal (Technische Universität Braunschweig, Germany)

16:20 自動運転の安全性評価指標について

毛利 宏(東京農工大学・教授)

16:45 安全性評価指標策定のための映像処理技術

伊神 大貴(東京農工大学・特任助教)

17:10 まとめ・閉会挨拶

ポンサトーン・ラクシンチャランサク(東京農工大学・教授)

※プログラムは講師の都合で予告なく変更となる場合があります



以下URLまたはQRコードよりお申込みください
<https://forms.gle/jspT2ze6UaFexMxJ9>

定員150名(定員に達し次第、締切とさせていただきます)